



四万十川に架かる抜水橋を渡り、予土線の鉄橋をくぐって希ノ川に入る。地区としては広く、南は四万十市と接している。橋には「四手の川橋」の銘板がかかっている。実は平成の合併までは「四手ノ川」と呼ばれていた。名前が「希」に変わったのは、「昔は人もよけおったけど、今はごらんの通り。でも若い人にも帰ってきてもらわないかん。そんなこんなで希望の持てる集落にせないかん」と説明していただいた。

地区内を散策してみると実には谷が多い。四方八方で谷に行き当たる。千手観音様は手をたくさん持っている。四方に千手で「四手ノ川」。地図上での地区の状態を表しているように思えてならない。

この地区への出入りは、四万十川を渡ることから始まる。現在は抜水橋が架かっており台風時でも平気だが、以前は渡し舟で往来をしていた。「昔は16軒ばああって、学校に行く子もよけおった」渡し



新旧交替

舟は賑わっていたそうだが、舟には舟番役がいるため。沈下橋がほしい。ちようど松を買いたい業者がいて、地区の人たちが共同で民有林の松を売りその浄財で沈下橋を作った。昭和27年の完成である。個人山の松代金を地区のため

に浄財として使い、損か徳かは考えない太っ腹だ。行政にも少しは手伝っても良かったのだが、自力で橋を架けることはそうそう出来ることではない。希なことではないだろうか。すでに改名する下地は出来ていたかもしれない。

ここは現在8世帯が住んでいるがみな仲良しで、例えば五目寿司を作れば、お裾分けと称して次の家へ回って行くそう。だ。「四万十川が暴れたら陸の孤島になるので、協調の精神が培われていたんでしよう」と94才の古老から聞いた。先人の残した田畑をしっかりと守り、仲良しの世帯の希ノ川。希なことで地域興しをしてくれるUターン組の出現を心より願っている。



暴れ始めた四万十川

町のうごき	(8月31日)		人口		前月比		出生		死亡		転入		転出				
	男	女	計	世帯数	男	女	計	男	女	計	男	女	計				
	9,174	10,269	19,443	8,803	-5	-22	-27	4	6	10	15	19	34	14	12	26	29
	(8月中の届出)																

四万十川の 水質状況	適正值(mg/l)		8月11日	
	項目	標準値	測定値	備考
リン酸	≤ 5.0	測定値以下		
硝酸	≤ 0.5	測定値以下		
アンモニウム	≤ 5.0	測定値以下		
アニオン活性剤	≤ 1.0	1.200		
化学的酸素消費量	≤ 10.0	8.130		

調査：大正(香川)
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)